

令和3年度第1回 静岡市犯罪等に強いまちづくり推進審議会 会議録

- 1 日 時 令和3年7月16日（金） 午前10時00分から午前11時40分まで
- 2 場 所 上下水道局庁舎4階 41会議室
- 3 出席者 (委 員) 金子泰之委員（会長）、木村精治委員、狩野美佐子委員、丸山恵子委員
(事務局) 秋山市民局長、草分市民局次長、片井参与兼生活安心安全課長、仲澤防犯・交通安全係長、土肥副主幹、鈴木主任主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題
(1) 第2次静岡市犯罪等に強いまちづくり基本計画の進捗状況について
(2) 令和3年度市政アンケートモニター調査について
- 6 会議内容
(1) 開会
(2) 挨拶（市民局長）
(3) 静岡市の犯罪概況について
- 事務局 【資料1～3】「静岡市の犯罪概況について」説明
- 事務局 ただいまの説明について、委員の皆さんからご質問やご意見はありますか。
- 狩野委員 資料1の窃盗犯の手口別認知件数の犯罪の内容についてわからないのですが、空き巣、忍び込み、居空きはどのような違いですか。
- 事務局 空き巣は一般住宅で家の方がいない場合、忍び込みは、家の方が寝静まっている時などに侵入する場合、居空きは、例えば日中家の方が1階とか2階とかで作業しているところに侵入する場合となっており、犯罪の態様が違います。
- 狩野委員 そうすると犯罪の目的は関係なく、状況で分類しているということですか。
- 事務局 その通りです。乗り物盗の分類は、対象物で分けていますが、侵入窃盗は態様で分けています。
- 狩野委員 3つの侵入盗の中で、どれが一番重い犯罪というものはあるのですか。
- 事務局 犯人側からして、捕まるリスクが一番低いのは空き巣になり、3つの中で一番件数が多くなります。居空き・忍び込みは、犯人側が攻撃されるケースもありますので、中には居直り強盗と言って、暴力的な行為に出て、窃盗から発展する危険性があります。犯人側も捕まりたくないのもので、それを避ける傾向にあります。そのため実数として少なくなります。
- 狩野委員 忍び込みと居空きを分類するメリットはあるのですか。

事務局 犯人によって、犯罪の手口の特徴が変わってくるため、警察が犯人の余罪を見つげるため、このような分類をしています。

事務局 他にはご意見、ご質問よろしいでしょうか。

特にないようですので、これよりは審議会規則に従いまして、会長に議事の進行をお願いしたいと思います。

(4) 議事

金子会長 それでは、議事に移ります。

次第の4、議事(1)「第2次静岡市犯罪等に強いまちづくり基本計画の進捗状況について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料4、5】「第2次犯罪等に強いまちづくり基本計画の進捗状況について」説明

金子会長 ありがとうございます。委員の皆さんからご質問やご意見はありますか。

木村委員 3点ほどありますが、全体としては、コロナ禍であっても達成度Aの事業が8割となっており、よくやっていると感じました。2点目は、コロナ禍におけるやり方について、従来と同じようなやり方が本当に良いのかどうか相当問われており、これから第3次計画に向けても、そういったことを踏まえた内容にしていかなないと大変だと思います。

例えば、資料4の2ページのNo.12「子どもの体験型防犯講座(あぶトレ)」は、達成度Cなのですけれども、これについては、学校が4、5月休校となり、私たちがあぶトレをやっていて一番困ったのは、1年生は基本的に4、5月に集団生活について学びますが、6月から学校がスタートしているため、体育館に集団で集まること自体が初めてで、先生方でも収拾がつかないこともありました。

そういった中で、実際に講座を実施できなくても、県がDVDを作製し、各学校に配付しているので、今年はDVDを見て防犯対策をやっているということがよくありました。あと専門的な講座についても、開催方法がオンラインに変わり、やり方がそれなりに工夫されてきました。あとオンラインができる状況であれば良いですが、なかなか自治会とかそういったところは難しいところがあると思いますので、今後どうしていくかが課題になっていくと思いました。

あと防犯カメラについて、要望が増えていると感じていて、私の自治会も設置する話がありましたが、個人情報はどうするかというところがネックになっていて、設置場所は3か所ありますが、個人情報で引っ掛かりました。特にコロナ禍で、集団資源ごみを自治会で集め、売って自治会の活動費にしています。昨年、バイクできた男性が自治会収集資源の本を持ち去ったと通報がありました。聞くところによると、その本を売って、現金化しているようです。多い人では、20万円ぐらい稼がらしい。

その対策をネット検索すると、静岡市には条例がなく、氏名公表や罰金などを課することができませんでした。そのため、「見張っている」「通報する」などの警告看板を掲げました。こうしたことからコロナ禍における犯罪が増えてきて

おり、そうしたところに配慮していかなければいけないのかなと思いました。

ただ、全体としてはコロナ禍において達成度Aの事業が8割という報告でしたので、相当やっているのではないかと思います。ほとんど自治会関係はイベント等中止というところが多かったですが、そういった中でよくやっているんじゃないかなと思います。

金子会長 オンラインを使った事業に切り替えるとか、そういう工夫を現状検討していることはあるのでしょうか。

事務局 事業全体、犯罪分野に限らず地域に御協力いただいている取組みがいくつかございます。出前講座やあぶトレも昨年は制限を受けてうまくいきませんでした。このコロナの状況がいつまで続くかわからないので、今年に関しては、できる会合は開くということで、その一つが暴力追放推進協議会の研修で、会場を選んだり人を減らす等の基本的な対策で、できるものは開催して、実施していくよう努めております。

先ほど木村委員からお話があったとおり、動画等を活用していくことが次に考えられる手立てとして、啓発も人を介してできないのであれば、デジタルサイネージも増えつつありますので、そういったもので配信する等、検討を進めていきたいと考えております。

金子会長 事業の達成度評価で、昨年度と比べるとBとCが増えていますが、事業はコロナの影響等あって、昨年度よりも充実したものにならなかったが、静岡市の刑法犯認知件数が大幅に減っているというところを、どのように解釈しているかが気になりました。

事務局 刑法犯認知件数の減少については、全体としてそちらの傾向にもコロナの影響が出ているのではないかと思います。防犯活動の成果として反映される部分とコロナの影響を受けて認知件数が減っている部分もあるかと思います。ただ、防犯活動もその時やらないから成果が出ないということではなくて、積み重ねの部分もあると思いますので、達成度が9割から8割になりましたが、それなりに認知件数の減少に寄与することができたと思います。

金子会長 コロナ収束後のことを想像した時に、恐らく自転車盗は、人の動きがコロナで少なくなって減っているというところが大きいのではないかとと思うので、コロナ収束後に増える可能性もあるわけですが、そうした時に事業が悪いということではなくて、人の動きが大幅に増えた時にそういう可能性があるということで、コロナ禍とコロナ収束後の解釈をやった方が良いのではないかと思います。

そもそも人の流れが小さかった状況を踏まえて今後収束後のことを考えていかないと、犯罪の件数が増えたときに事業が悪いのではないかと考えた時にそうではないと言えるような体制というか、そういう風に解釈した方が良いのではないかと思います。

事務局 ありがとうございます。犯罪自体が人流と関係が深いということを、こういう事態になって知ることになったという側面もあると思いますので、事業がどうあ

るべきかということも振り返ってみるきっかけにはなるかと思います。

金子会長 自転車盗は人の流れの影響がかなり強く、一方で生活が困難になってしまった層がいて、それが例えばドラッグストアの大量万引きと転売ということにつながっていると思うので、状況が人の動きとか犯罪に影響を与えているというところで、大きな社会変化を踏まえつつ、今後どこに力を入れていけば良いのか考えられるのではないかと思います。

丸山委員 自転車盗はどの時間帯が多いのですか。朝の出勤時間が多いのか、昼の時間が多いのか、それとも帰った後の時間なのか、何のための盗難が多いのですか。

事務局 静岡南警察署管内で多かった件で話をさせていただきますと、駿河区で多いのは、大きな商業施設もそうですが、安倍川駅の東側に野ざらしの駐輪場がありまして、そこで多く発生していると聞いていました。

そこは通勤・通学で駅から少し離れたところに住んでいる方が、よく使いますが、鍵をかけないで学校等に行ってしまう、夜になって戻ってくると盗まれています。

自転車盗むのは、自動車に乗らない年齢層による犯行が多いのですが、被害者になる方が帰るよりも先に動いています。少年が多いのですが、あの辺に遊びに来て、駅に来たけど、友達の家までは少し遠い。「なんか良いのいないかな」とふらっと行って、「あ、鍵ついてないじゃん」と乗って行き、その辺に乗り捨てられることが多いです。スーパーとか大きな商業施設だとまた少し変わりますが、駅からよく盗まれるのは、そういった形のものが多く、大体何かの足に使われます。あとは、高級な自転車であれば、その物をピンポイントで狙って盗むものもあります。ただ、一般的な自転車は安価になっており、被害に遭われる方も簡単に買い替えることができるため、鍵かけの意識も呼び掛けても低く、未施錠のものが多く原因となっています。

丸山委員 あと青パトなのですが、以前もお話して、私も気を付けて見るようにしています。この前も1回か2回見た程度で、出かける時間も子どもたちが帰る時間とか学校に行く時間に出かけていないので、見てないのかもしれないですが、青パト車両が増えたと言うので、子どもたち以外の私たちが2、3、40代の人やお年寄りの方にも青パトが回っているという広報をもっとしていただきたいです。

繋がっている方たちは、たぶん情報が入ってくると思いますが、繋がっていない方たちにも、青パトで見回っている人たちがいるということを情報が入ってくるようにしてほしいと思いました。

事務局 青パトの件でご説明させていただきますと、川崎の事件以降本市としては強化をしております。確かに丸山委員おっしゃる通り、青パトが何かわからないというところも課題になってくると思います。

そういったお話を受けまして、市としましては、毎年10月の地域安全運動に合わせて、広報紙で青パトの紹介をさせていただくとともに、昨年度まで消費生活センターで暮らしにかかわる悪質商法の情報等をそれぞれ静岡・清水のコミュ

ニティFMで広報をしておりましたが、今年度より防犯の方でもFMを活用した広報を新たに始めました。今度7月にこの青パトの関係につきましても、まずニティエフエム静岡さんの方で、青パトがどんなものかというご紹介をさせていただき予定となっておりますので、委員ご指摘のとおりその部分については、担当として広報を推進してまいりたいと思います。

狩野委員 基本計画なのですけれども、この基本計画の中の、例えば地域によって静岡市は特性がありますよね。ここは商業地域、ここは住宅地域、ここは工業地域、農業地域とか色々あるのですけれども、エリアとかゾーン別の対策は考えていらっしゃるのでしょうか。

例えば、防犯カメラは、農道の誰も通らないようなところに作るよりも商業地の密集したところに設置した方が、費用対効果では、効果が得られるわけですよ。その辺のエリアの考え方ってあるのですか。

事務局 静岡市が行っています街頭防犯カメラの考え方としましては、地域の防犯活動に取り組む団体の活動を活性化させるためにお使いいただきたいということですので、危険な場所を選んでつけるという考え方よりは、活動なさっている団体を支援していくことを狙いとしております。地域によっては、地域間の比較はあるのかもしれないのですけれども、それよりは、「私の地域ではここが大事なんだ」というような思いで手を挙げていただければ、それを支援していきます。

狩野委員 そうすると防犯カメラの補助金は、地域のアピール度によって、プライオリティが決まってくるのですか。

事務局 先ほども申し上げましたが、今は、なかなか手を挙げていただいても順番待ちになりかねないということなので、1地域に1台その年度でつけられるかどうかになります。複数希望のところもあるのですけど、その中で地域で順番をつけていただいてお申込みいただいた中で、あとは全体としてどうかなということなんです。

狩野委員 全体としてどうかなというところをお聞きしたいです。

事務局 警察のご意見も聞いて、緊急性とかそういったところのご意見を伺った中で、つけていくという形になります。

狩野委員 そうすると、かなり警察の所見に左右されるということですか。

事務局 地域の考えもありますし、警察のご意見を頂戴した上で、決めていきます。

狩野委員 補助金を貰えたところと貰えないところで争いになることはないですか。

事務局 そこは、我々も努力して、皆さんの希望が叶うようにはしていきたいと考えていますけれども、今年で言えば2台、3台という希望には添えないのですけれども、1か所ずつはつけるような調整ができるのではないかなと思っております。

狩野委員 平等感に基づいて、割り振るといふ形ですか。

事務局 地域の活動を支援するという意味では、1か所ばかりに支援するのではなくて、地域で問題意識を持って手を挙げていただいているわけですから、そういった活動を支援していくという考え方になります。

金子会長 他にいかがでしょうか。ありがとうございました。

事務局では今回出た意見等をもとに施策に反映できるか検討し、各事業に取り組むとともに、基本計画の見直し作業を進めていただくようお願いします。

続いて、議事（２）令和３年度市政アンケートモニター調査について、事務局から説明をお願いします。

事務局
金子会長
木村委員

【資料６、７】「令和３年度市政アンケートモニター調査について」説明

ありがとうございました。委員の皆さんからご質問やご意見はありますか。

過去にもこういったアンケートモニターをやられていると思うのですが、回答の推移を分析する質問がどういうものがあるのかなということが一点あります。

それから問７と問８の順番が逆にした方が良いのではないかなと思います。意識を最初に聞いて、防犯対策は何をしていますかと。順番がどうなのかなという感じでした。

それから５ページの例えば問１１-１と書いてあるところに問１０でとありますが、番号がずれてないかなと思いました。次のページも問１２-１が問１１でとありますが、問１２ではないかなと思います。

あと問１２の防犯カメラの項目なのですけれども、もう少し具体的な内容で聞いても良いのかなと思いました。アンケート結果を踏まえて、議論の内容にしていけば良いのかなと思いますが、個人情報をごどのように扱うかというところが引っかかりました。それから問１２-２は、「積極的に設置すべき」～選択は３つまでと書いてありますが、この質問はいらぬのではないかなと思いました。これはアンケートで聞くよりは、専門の人たちが見た方が良いのかなという感じを受けました。

それから、５ページの地域防犯活動の参加の部分なのですけれども、細かなことですが、参加できる時間とか曜日とか条件を聞けると良いかなと思いました。今までは、一律土日が休みとなっていましたけれど、今は共稼ぎとか、ライフスタイルが変わり、休みの曜日が違って、自治会もそうですが、土日に出てきてくださいと言っても、土日仕事があると言う人が結構います。参加できる曜日や時間帯みたいなものを、もう少し細かく聞いた方が、活動を設定する場合に、地域の状況に応じて、決めてあげた方が参加しやすいのではないかなというところがあったので、項目が多くなってしまいますが、そういうところを聞けると良いのかなという感じも受けました。

事務局

質問の前回との比較で一番大きいのは、体感治安の部分で、問２、３、４のあたり、今の体感として治安が良いのかどうかということも含めて、推移を比較するような質問の設定をさせていただいております。

それと、問７と８は、委員おっしゃる通り、意識を聞いた上で対策は何をしているかとい聞いた方が、自然な流れかと思しますので、こちらの方は、見直しをさせていただきます。

問１１以降の番号がずれているという件につきましては、申し訳ございませんでした。こちらは正してまいります。

問12の防犯カメラの具体的に聞いた方がといところにつきましては、地域によって、どういった理由でといところもあるかと思いますが。

木村委員 もし入れるとすれば、設置したいが条件が合わなくてできないとか、そういう項目があっても良いのかなど。意識としては、積極的なのか積極的でないかみたいな感じなのですが、意識としてはあるのだけど、さっき言った個人情報の点で設置できないとか、条件によって難しいというのもありなのかなど。

事務局 設置したい思いと懸念というか、課題になっているものをあぶり出すような感じですか。

木村委員 意識として、積極的に設置すべきというのは、意識が強いですね。設置すべきではないというのは拒否しているのだけど、その中間として、設置したいけど条件が合わないので設置できないみたいな項目が入ってくると今後対策を考えていくためには良いのかなど。どういう条件を整えば設置したいですかみたいのが入ってくると。

事務局 問12の選択肢の中に、課題がクリアできれば設置しても良いみたいな選択肢があれば、その理由も下の問12-1で聞けるかなということですか。

ありがとうございます。

問12-2の質問がいらぬのではないかとこの部分については、検討させていただきます。

それから、問11の地域防犯活動に参加できる条件を質問に追加する件についても、検討させていただきます。

木村委員 これは、防犯だけではなくて、自治会の活動も見直しを迫られていて、従来ですと土日が休みで参加してくださいと言っているのですが、自治会を構成している人の職業によっては、土日が必ずしも休みではなくて、月曜日だったり水曜日だったり、結構バラバラなので、時間帯も忙しいのだけど、この時間だったら手伝えるよということもあるものですから、そういうことも聞いておければ、今後の対策に利用できるのではないかなと思いました。

事務局 また検討をさせていただきます。

金子会長 この調査は前回何年前にされていますか。

事務局 前回平成30年度に実施しています。

金子会長 最初の意見照会にも書いたのですけれども、変化といところは、前の調査を積み重ねていけば変化は出るので、5年前と比べてみたいな感じで聞くのではなくて、今現在どう思いますかということのを常に聞き続けていけば、変化は出てくるので、データをずっと並べていったら良いのではないかなと思いました。

事務局 ご意見いただいたとおり、変化については、前回のデータと今回のデータを見比べればわかるものですから、今回のモニターさんに対して変化を問うのではなく、今どう思うかという質問項目にご指摘のとおり、変更させていただきました。

狩野委員 防犯活動は時系列を追っかける必要はないのではないかなと思うのですね。時系列よりも今おっしゃったように、現状がどうであるかを把握して、それをどうアン

ケートモニターに反映させていただくことが大事なのです。

あと前回の意見照会時には書かなかったのですが、日常生活において、特に不安に感じることは何ですかという問6の項目で、外国人の差別ではなくて、外国人の犯罪が結構今脚光浴びてますけれども、その辺の項目はどうなのでしょう。

事務局 当初、来日外国人による犯罪の発生を項目として入れさせていただいていたんですけれども、ご意見で外国人に限ってというところの部分が、差別的にとられてしまう可能性があるということで、そういったご指摘に従って現状は削除しています。

狩野委員 特に外国人に焦点を当ててということではなくて、一般的に新聞では、外国人による犯罪と言われてますよね。ですから、差別的な面はないとは思ったのですが、もし市の方でそういうお考えであれば、それで結構です。

金子会長 私からもう1個追加なのですが、先ほど狩野委員から地域ごとや区ごとに特色とか地域性があるのではないかということがあったのですが、今回のアンケートモニターの人たちがどの区に居住しているのかという情報や何人区から出てきているのかというのを見た方が良いのではないかなと思っていて、更に性別や年代もですね。これは何歳以上をお願いしますか。

事務局 18歳以上です。

金子会長 10代から20代、30代、7、80代位まで聞くとなった時に、年代ごとの意識の特徴を見るとなると、例えば、男女で10人ずつ、そしてそれを年代ごとにすると10代で男女10人で20人ずつでやっていくと、たぶんそれだけで160とかになるのですよね。更にそれに区を3区分入れると、それだけで400とか500になるのですよね。

たぶんそれ位の規模で本当はやらないとダメで、それを踏まえてこれまでの事業の評価や実態を把握していくことが、必要なのではないかなと思います。

項目ができたのは良いのですが、バランス良く、年齢ごとに、そして、色々な単身世帯とか同居世帯とか、色々な世帯からの情報を収集できるような対象に本当はお願いしなくてはいけなくて、せっかくやっても全く何にも参考にならなかったでは意味がないので、本当はもう少しお金をかけて、ちゃんと色々な条件をそろえて、実態を正確に把握していくことが、必要なのではないかなと思ったのですが、モニターの方々の内訳というか、今回9月に調査をお願いする内訳が気になるなというところなのですが。

事務局 モニターにつきましては、広報課で市政アンケートモニターを募集してお願いする形になりまして、4月に募集を開始して、人がこれで決まってきているとは思うものですから、先ほどご指摘のとおり集計をちゃんとするならそれ位の規模というところもあるのですが、現状のモニター制度としては、18歳以上の150人になってしまうものですから、その中でどういった年代、どういった居住地というところは、広報課に聞いた上でわかってくるかと思いますので、そのデータを取りながら、特徴をつかんでいきたいと思います。

事務局 補足をさせていただくと、このアンケートモニターは年間を通して、お願いす

ることとなっていて、これだけではなくて、市の中で、年間3本から5本位の調査をかけさせていただく時に、御協力をいただくような方になります。毎年募集をして、その年度内に行う市政アンケートモニターの方たちです。

今おっしゃったように、お金をかけて、本来は段階別に抽出して、無作為の調査をするということも、考えなければいけないのですが、なかなかそのハードルが高いところもありますので、今は多くの調査が、広報課が年間行う調査の中に入れて、一斉に調査をしていることが多いです。あともう一つは紙ベースで行う調査で、こちらは3,000人位を対象にしているものですが、そちらの方もかなり競争率が高く、なかなかやることが難しいというところがあって、今こちらはアンケートモニターを活用しているところです。回答率はほとんど皆さんがご回答いただけるので、数は150ですが、ちゃんととれているところです。

金子会長 今インターネット調査とか会社があって、そこに頼むと、静岡市居住者で、更に3区同じ人数で、そして年代ごとにとってくださいと言えどとれるようなアンケート調査会社もあるので、もし今後予算がつくのであれば、そういう把握をしていく、やはり調査で偏りは避けられないのですが、なるべく偏りが少なくなるような形でやるためには、やりますと言う人たちだけではなくて、もう少し、色んな年代からの傾向が見られると、良いのではないかなと思いました。

あと、今後これをやって、結果は出てくると思うのですが、年齢別の違いとか年代別の違いとか、家族がいる・いないとか、そういう違いでの結果を出してもらえるのですか。

事務局 広報課での募集も18歳以上の150人ということしかうたっていないものですから、その辺の細部の情報については、アンケート結果と合わせて、確認させていただきますので、わかった時点で報告させていただきます。

木村委員 たぶんアンケートモニターと切り離さないと難しいのかなと思っていて、これはこれで進めていただいて、地域特性を把握するために、もう少し細かな人口構成がどうなっているとか、高齢者の割合がどれくらいとか、要介護者がどれくらいいるとかですね。そういう細かなデータ分析について、予算をつけていただいて、そういうことをやっていかないと地域特性が出てこないのではないかなというふうに思っています。人口の増減も減少と言われているのですが、細かく見ていくと、増加している地域もあったりして、何で増加しているかわからないところもあるのですが、そういうものを合わせていかないと、なかなか難しいのかなと思いました。

防犯カルテみたいな、細かな人口構成がどうなっているとか、どういう環境になっているのかとか、交番ごとの犯罪の件数とか、そういうことを合わせていくと、先ほど狩野委員が言われたとおり、地域に則した対策をすることができるのではないかなと思う。それをやるには、なかなか1課でやろうとすると大変なので、企画課とか、関係部署があれば、乗っかっていくであるとか、「将来この地域に住みたいですか。」みたいなものなんかも、どこかでたぶんやられていると思う

のですが、そういう地域において、こういう意見があるとか、犯罪が起こっている背景的なところをしっかりとらえないと、なかなか政策を立てようとしても難しいのではないかなど。

あとは予算との兼ね合いがあるので、確保していただくか、他課の関連事業に乗っかるとか、関連事業内容等に追加していただき、「データ分析するのだったらこの項目入れてもらえませんか。」とか、横連携ができるの良いかなどそんな感じも受けました。

事務局 ありがとうございます。その通りだと感じるころですが、なかなか手が届きにくい現状でありますので、また、色々お知恵を出していただきましたので、知恵を絞っていきたいと思います。

事務局 そこまでいかないのですが、市民自治推進課の方では、校区カルテ的なもの、学区の状況を一部分析したものを用意はしています。ただ、それを継続してとか、もう少し色んな分野に広げてというところまでは、なかなかいかなかったところもありますので、今おっしゃったように、1課ではなくて、複数の部署が横断的に考えなければいけないところなので、また、そういったご意見をいただいて、私たちも伝えていくようにいたします。

金子会長 皆さん、いかがでしょうか。

これを根拠にして、動いていくことになると思うので、できるだけ精度の良い、そして分析の時に活用ができるようなやり方でデータを収集できるように、動いていけると、良いのではないかと思います。

ではアンケートの意見はこれで、よろしいですか。

この市政アンケートモニターは、次期基本計画の策定に向けた判断材料となるものですので、事務局では今回出た意見等を内容に反映させ、アンケートを実施していただくようお願いします。

それでは、本日の議事は以上となりますので、進行は事務局へお返しします。

7 閉会

静岡市犯罪等に強いまちづくり推進審議会 会長 金子泰之